

## STC 東京支部主催特別企画

### ドキュメントソリューション公開コンペ 第1弾

### ～日本企業が抱える多言語展開の課題に挑む～ (課題のご説明)

---

STC 東京支部

RFP 原案：中村哲三 様

2007 年 4 月 6 日

第 2 版

## 目的

---

今回の公開コンペの目的は、同じプロジェクト案件に対して、プレゼンター各社様がどのようなアプローチを用いてソリューションを提供して下さるか、それぞれの特徴や考え方の違いなどを出席者の皆さんに見ていただくことであり、実際にその場で案件の受注を競うものではありません。

各社独自のツールやプロセスなどを活用したソリューションをご紹介いただくことで、将来的なビジネスへ発展することをお祈りしております。

## ご注意

---

本文書は、STC 東京支部主催特別企画「ドキュメントソリューション公開コンペ 第1弾～日本企業が抱える多言語展開の課題に挑む～」のために作成されたものであり、その内容は実際の案件に基づいたものではありません。あくまでも、企画の1つとしての架空の設定です。あらかじめご了承ください。

## 課題 (Request For Proposal)

---

ある日本の中堅コンシューマー機器(電子機器)メーカーが、以下のような状況下で製品同梱マニュアルを制作しています。抱えている課題や問題点を踏まえて、改善方法をご提案ください。

## 発表形式

---

- ・ 制限時間 40 分 (時間内での質疑応答は自由です)
- ・ スライド、フリップなどの形式は自由です
- ・ プロジェクタは STC でご用意いたします

## 制作概況

---

- ・ 北米（英語）、欧州 8 カ国（8 言語）、中国、韓国に製品を輸出
- ・ 1 つの製品に同梱するマニュアルの平均的なページ数 100 ページ
- ・ 毎年「5 種類の新商品マニュアル(A シリーズ)と 5 種類の改訂版マニュアル(B シリーズ)」が、それぞれ冬と夏 2 つのヤマをつくっている。(2 つのシリーズ、大きなサイクルが 2 年)
- ・ 新商品制作時の流用率は 50%、改訂時の平均変更率は 30%。
- ・ マニュアルのレイアウトやフォーマットはほぼ統一されている
- ・ 内容は定型文や製品によっては共通する仕様もあり、流用できる箇所も多い
- ・ マニュアルの制作言語数は、日本語、英語と、上記 10 言語
- ・ 日本語版と英語版の制作は、国内の制作会社に一括発注している
- ・ 上記 10 言語については、日本から各国の現地法人に英語版のファイナルを送って、それを翻訳して、現地で制作している
- ・ 最近、制作用の OS を Macintosh から Windows に変えた
- ・ 制作用の DTP アプリ
  - 日本語版は日本の制作会社にすすめられるままに InDesign にした
  - 翻訳のベースとなる英語版は、欧州現地法人からの要求により FrameMaker にした
- ・ 最近、営業からアラビア語版制作の要望が出ている

## 問題点

---

日本でつくる日本語版や英語版は進行管理、品質管理できている

- ・ その他の 10 言語については、すべて現地法人まかせなので、いろいろと問題がある
  - 進行管理ができず、仕向けによっては生産立ち上げに間に合わなかった
  - 現地法人によっては、毎回、高額な翻訳料を請求してくる
  - 翻訳漏れがあったり、納品されるデータが文字化けしたり、品質が劣る
  - いったん制作してしまうと、英語版で生じる改訂が反映できない
  - 国によっては、マニュアルで使用する用語が異なっていたりする
  - 商品ウェブサイトで使われている用語と異なる
- ・ 本社としてのイニシアチブをどうするかという問題もある

## 具体的な改善案は？

---

上記のような状況下にある多言語展開プロジェクトでは、どのようにしたら効率よく多言語の進行管理、品質管理、コスト管理ができるでしょうか？

## 備考

---

1. 具体的な費用算出は不要ですが、金額的な効果に関してのアピールはしていただいてもかまいません。
2. 費用のご相談は個別に受け付けてください。

以上